

平成 27 年度 第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 4 月 23 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時 13 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 23 人（委員現在数 24 人。欠席 1 人）

事務局 7 人

傍聴 1 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 26 年度第 12 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 1 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 郷土文化推進部会からのご報告
- 5) 地域広報部会ポータルサイト研修会要旨
- 6) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成 27 年度委員名簿
- 7) 片瀬・江の島まちづくり協議会部会名簿
- 8) 平成 27 年度会議日程表
- 9) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成 27 年度スケジュール調整表
- 10) 平成 27 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動計画（案）
- 11) 平成 26 年度片瀬地区地域まちづくり事業・地域課題進捗状況
- 12) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 16 号 イメージ
- 13) 片瀬地区郷土づくり推進会議と理事者との意見交換 実施要領(案)
- 14) 平成 26 年度片瀬・江の島まちづくり協議会委員研修会～実施要領～ 見本
- 15) 4 月 10 日号回覧一式
- 16) 4 月 25 日号回覧一式
- 17) 平成 27 年度片瀬市民センター・公民館職員名簿

1. 開会

開会にあたり、新任委員および市民センター・公民館職員の紹介を行った。

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 26 年度第 12 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料3～5、13)に基づき部会活動について報告した。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

特になし。

(4) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（生環協）5月31日開催のクリーンキャンペーンについて。
- ・（子ども会）資料15) 子ども会入会募集について。

(5) その他

資料6～7)に基づき、協議会委員および部会構成員の確認を行った。

4. 議題

(1) 平成27年度活動計画について

資料8～11)に基づき、活動計画について確認を行った。まちづくり通信第16号については、役員会で検討した結果、市長等との意見交換の結果報告についても記載をしていくこととし、6月10日号回覧に日程変更したこと、並びに、地区集会を10月31日と2月27日の計2回開催し、10月31日には市長との意見交換も行う計画となった。また、地区集会とは別日程にてワークショップを行うかどうかについては、地域課題についてのワーキング等の取り組み状況を踏まえながら、今後検討していくこととした。

(2) まちづくり通信について

資料12)に基づき、まちづくり通信第16号の紙面構成について検討を行った。第1面は市長等との意見交換結果について、中面見開きは平成27年度計画について、裏面はボランティア協力員の募集について、平成26年度決算報告、平成27年度委員一覧とすることとした。検討を行い2～3面は横に長く読みづらい、裏面の協力員の募集は強調すべき、写真をもう少し入れるべき意見があげられた。意見を元に地域広報部会で改めて検討を行うこととした。次回の全体会及び役員会で紙面確認を行い、6月10日号回覧で各戸配布することとした。

(3) 市長との意見交換について

資料13)に基づき、市長等との意見交換の進め方やテーマ等の内容について検討を行った。意見交換できる時間は限られているため、テーマをある程度設定していくこととし、2025年問題等超高齢化に伴う空き家・バリアフリー課題、防災関

題，子どもの居場所課題，公民館のスペース拡張，ごみのポイ捨て等環境課題，オリンピック招致についてのテーマ案が挙げられた中，検討を行った結果，超高齢化に伴う空き家・バリアフリー課題，子どもの居場所，防災の課題，以上3つの課題について意見交換を行うこととした。

この意見交換のテーマの整理については，役員会に一任することとした。また，空き家課題の整理を行うため，空き家対策ワーキング座長岡田委員を役員会へ招集することとした。

(4) 委員研修について

資料14)に基づき，研修内容について検討を行った。内容についてご意見あれば事務局まで申し出ることとした。また，継続委員も参加可とした。

5. その他

空き家対策ワーキングにおいてワーキングの傍聴希望の申し出があったことから，取扱いの考え方について意見交換し，基本は傍聴可とし座長がワーキングの内容により判断していくことを確認した。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 2 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 5 月 25 日（月）午後 7 時 50 分～午後 8 時 36 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 21 人（委員現在数 24 人。欠席 3 人）

事務局 8 人

傍聴 3 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 2 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 27 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 2 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) ふじさわボランティアセンターニュース 2015 年 5 月号
- 5) 平成 27 年度第 1 回青少年健全育成部会報告
- 6) 平成 27 年度第 1 回青少年居場所事業定例会報告
- 7) 平成 27 年度第 1 回公民館活用部会報告
- 8) 平成 27 年度第 1 回まちづくり推進部会要旨
- 9) 平成 27 年度第 1 回空き家対策WG議事録
- 10) 平成 27 年度第 1 回環境WG議事録
- 11) 保健所視察報告
- 12) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 16 号 イメージ
- 13) 片瀬地区地域まちづくり事業費一覧表
- 14) 片瀬・江の島まちづくり協議会 平成 27 年度スケジュール調整表
- 15) 平成 27 年度片瀬・江の島まちづくり協議会委員研修会～実施要領～
- 16) 5 月 10 日号回覧一式
- 17) 5 月 25 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 27 年度第 1 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料 3～8) に基づき部会活動について報告した。ボランティアセンター運営委員会は口頭で報告があった。

- (3) 各課題別検討ワーキングからの報告
各課題別検討ワーキングが、資料9～11)に基づき検討状況について報告した。
- (4) 各地域団体からの報告(トピック)
 - ・(子ども会)わくわくキッズ天国 in しおさい, こどもらんどまつり, デーキャンプについて。
- (5) その他
特になし。

4. 議題

- (1) 市長等との意見交換について振り返り
市長等との意見交換について振り返りを行い, 委員から以下の意見があげられた。
(犬山委員) 湘南モノレールについては, 事前に先方に確認をした上で回答があり, わかりやすかった。
(長谷川委員) 各テーマ詳細な回答をもらうことができた。
- (2) まちづくり通信について
資料12)に基づき, まちづくり通信第16号の紙面構成について確認を行った。
第1面は市長等との意見交換結果について, 中面見開きは平成27年度計画について, 裏面は協力員さん大募集!, 平成26年度決算報告, 平成27年度委員一覧とした。内容等ご意見あれば今週中に事務局へ連絡することとした。修正後の紙面については, 役員及び意見交換発言者が最終確認を行うこととした。6月4日に印刷を行い, 6月10日号回覧(5日地域回覧便)で各戸配付することとした。
- (3) 平成28年度概算予算について
資料13, 14)に基づき, 平成28年度概算予算のスケジュールについて確認を行った。各部会で来年度に向けて大きく事業を変えていく計画がある場合は, 6月中に事務局へ連絡することとなった。
- (4) その他
5月26日委員研修会について, 事務局より案内があった。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以上

平成 27 年度 第 3 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 6 月 25 日（木）午後 2 時 30 分～午後 4 時 15 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 18 人（委員現在数 24 人。欠席 6 人）

事務局 7 人

傍聴 1 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 3 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 27 年度第 2 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 3 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 27 年度第 1 回片瀬地区ボランティアセンター運営委員会会議録
- 5) 平成 27 年度第 2 回青少年健全育成部会報告
- 6) 平成 27 年度第 2 回公民館活用部会報告
- 7) 平成 27 年度第 2 回まちづくり推進部会要旨
- 8) 平成 27 年度第 1 回地域広報部会要旨
- 9) 平成 27 年度第 2 回空き家対策WG議事録
- 10) 片瀬地区「H27 郷土づくり推進会議と理事者との意見交換」の結果報告
- 11) まちづくり通信第 17 号発行企画
- 12) まちづくり通信第 17 号（案）
- 13) ワークショップの方向性検討資料
- 14) 片瀬・江の島まちづくり協議会 平成 27 年度スケジュール調整表
- 15) まちづくり通信第 16 号
- 16) 6 月 10 日号回覧一式
- 17) 6 月 25 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成 27 年度第 2 回全体会について
会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。
- (2) 各部会からの報告
各部会が、資料 3～8) に基づき部会活動について報告した。
- (3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングが、資料9)に基づき検討状況について報告した。

(4) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（民協）6月より、65歳以上対象に訪問調査を開始。
- ・（子ども会）デーキャンプについて。
- ・（交対協）自転車の危険行為について。
- ・（社協）にこにこ広場，社協ニュースの発刊，元気シニアについて。

(5) その他

5月26日（火）に行われた委員研修の報告があった。

4. 議題

(1) 市長等との意見交換について

資料10)に基づき，市長等との意見交換についての振り返りを行った。

(2) まちづくり通信について

資料11～12)に基づき，まちづくり通信第17号の内容とスケジュールについて確認を行った。まちづくり通信第17号（案）についてご意見・修正があれば7月6日までに事務局へ連絡することとした。修正後の初稿版は，8月全体会で確認を行うこととした。最終版は，8月10日号回覧（8月5日地域回覧便）で各戸配付することとした。

(3) 地域課題ワークショップの今後の方向性について

資料13)に基づき，昨年度の地区集会の振り返りを行った。ワークショップ形式を取り入れ，地域住民に関心の高い地域課題を選択した結果，多くの参加者と意見を得ることができたことや，時間が足りないという意見が多くあげられたことを確認した。また，他のテーマにも参加しなかった人もいたので，どのようにそのような機会をつくるべきか今後検討していくことを確認した。

今年度の地区集会は，第1回は市長との意見交換，第2回は今年度の活動報告も併せて行われることを確認した。第1回地区集会のスケジュールは，8月全体会までに企画をまとめ，9月10日号回覧で開催案内チラシの各戸配布を行い，10月10日号でも再度回覧を行い周知することとした。

以上を踏まえ，ワークショップを地区集会と一緒に行うべきかどうか，ワークショップのあり方と方向性について検討を行った。

<ワークショップのあり方と方向性についての意見>

- ・自治町内会も各々課題を把握していると思うので，地域課題を発表してもらい，タイアップして行ったらどうか。また自治連でも同じ課題について議論していることがあるので，まちづくり事業の内容を共有し，自治連も参加できる体制にす

れば良いのではないか。

- ・ワークショップは、課題検討ワーキングでは出ないような意見がでることがあるので有用ではないか。
- ・空き家に関するワークショップは、地区集会とは別に単独で行ったらどうか。

<第1回地区集会のテーマについて>

- ・市長との意見交換では、片瀬の子どもの未来を考える、のような意見・情報交換会を行ったらどうか。子どもがテーマであれば青少協、青少年支援フォーラムが日頃から議論していることについて意見交換することもでき、良い機会になるのではないか。
- ・東京五輪のセーリング会場が江の島になったことによる、片瀬・江の島地区の効用や、地域としてどのような受け皿を作るべきか考える機会にしたらどうか。

以上の検討を行い、第1回地区集会では市長との意見交換を行い、ワークショップは行わないこととした。また、今後ワークショップを行う場合は、地区集会とは別に機会を設けて行うこととした。

(4) その他

特になし。

5. その他

第5回全体会の日程を8月18日(火)13時30分開始に変更することとした。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 4 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 7 月 15 日（水）午後 6 時 30 分～午後 8 時 32 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 17 人（委員現在数 24 人。欠席 7 人）

事務局 6 人

傍聴 2 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 4 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 27 年度第 3 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 4 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 27 年度第 3 回青少年健全育成部会報告
- 5) 平成 27 年度第 3 回公民館活用部会報告
- 6) 施設見学について（公民館活用部会報告）
- 7) 平成 27 年度第 1 回郷土文化推進部会議事録
- 8) 平成 27 年度第 3 回空き家対策WG議事録
- 9) 平成 27 年度地区集会・ワークショップ検討資料（素案）
- 10) まちづくり通信第 17 号（案）
- 11) まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」冊子資料
- 12) 未来の藤沢についての意見をお寄せください（アンケート用紙）
- 13) 7 月 10 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 27 年度第 3 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料 3～7) に基づき部会活動について報告した。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングが、資料 8) に基づき検討状況について報告した。市民の家検討ワーキングからは、市の公共設備の再整備プランにおいて、市民の家の再整備の基本的な考え方が示されているが、具体的なスケジュールがでておらず、今

後再整備について市が検討していくため、市の方針がでるまではワーキングを休止する報告があった。

(4) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（民協）敬老会について。
- ・（スポーツ）片瀬小プール開放、かっぱまつりについて。
- ・（生環協）海の日街頭キャンペーン、ポイ捨て防止キャンペーンについて。
- ・（子ども会）デーキャンプについて。
- ・（青少協）夏期海岸夜間パトロールについて。

(5) その他

特になし。

4. 議題

(1) 地区集会及びワークショップについて

資料9)に基づき、地区集会及びワークショップについて検討を行った。

地区集会については、グループトーク後にパート2としてまちづくり協議会の中間報告を行ったかどうかと意見が挙げられた。また、参加者が日頃感じている地域課題について述べてもらう時間を設けたかどうかと意見が挙げられた。まちづくり協議会の中間報告については、資料配付のみの報告、映像を利用した報告、臨時まちづくり通信発刊による報告が挙げられた。以上を踏まえ、次回の役員会でタイムスケジュールを検討することとした。

ワークショップは11～1月に実施することを再確認した。テーマについては、以下の意見が挙げられた。

- ・東京オリンピック・パラリンピック関連は、まだ具体的な方針が公表されていないのでテーマとしては時期尚早ではないか。
- ・空き家については、空き家WGからワーキングを実施したい要望が挙げられた。
- ・ポイ捨てについては、環境WGで実施するか否かを検討することとした。
- ・10月に開催される地区集会で参加者から挙げられた地域課題をワーキングのテーマにしたらどうか。
- ・介護保険をテーマにしたらどうか。
- ・10月に開催される地区集会のグループトークは1時間弱であり、参加者は意見を述べるだけで終了してしまう可能性がある。その続きとしてグループトークと同じテーマにしてワーキングを開催したらどうか。

以上の意見を踏まえ、役員会及び全体会で検討を行っていくこととした。

(2) まちづくり通信について

資料10)に基づき、まちづくり通信第17号の内容とスケジュールについて確認を行った。まちづくり通信第17号(案)についてご意見・修正があれば7月20日までに事務局へ連絡することとした。最終版は、8月10日号回覧(8月5日地域回覧便)で各戸配付することとした。

(3) その他

特になし。

5. その他

冒頭に、資料11~12)に基づき、地方版総合戦略の策定に係るアンケート調査の依頼が、企画政策課からあった。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 5 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 8 月 18 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 15 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 19 人（委員現在数 24 人。5 人欠席）

事務局 6 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 5 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 27 年度第 4 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 5 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 27 年度第 4 回青少年健全育成部会報告
- 5) 第 5 回龍の口竹灯籠報告
- 6) 平成 27 年度第 2 回郷土文化推進部会議事録
- 7) 平成 27 年度第 2 回環境WG議事録
- 8) 平成 27 年度第 1 回地区集会実施企画（案）
- 9) 平成 27 年度第 1 回地区集会回覧チラシ（案）
- 10) 平成 27 年度第 1 回地区集会の出席について依頼文（案）
- 11) 片瀬・江の島まちづくり協議会第 38 回片瀬地区ふれあいまつり出展一覧
- 12) 平成 27 年度各地区まちづくり事業・地域課題・地域活動一覧
- 13) 7 月 25 日号回覧一式
- 14) 8 月 10 日号回覧一式
- 15) 8 月 25 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 27 年度第 4 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料 3～6) に基づき部会活動について報告した。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングが、資料 7) に基づき検討状況について報告した。

(4) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（社協）敬老会について。
- ・（青少協）デーキャンプ終了報告と夏期海岸夜間パトロールについて。
- ・（自治連）自治連だより発刊について。

- (5) その他
特になし。

4. 議題

(1) 第1回地区集会について

資料8～10)に基づき、地区集会について検討を行った。

内容・進行の確認を行い、委員の役割分担については、総合司会、地域の取り組みと課題及びまちづくりタイムのナレーターは徳江副会長が行うこととした。

グループトークでは、現在子育て中の保護者や一般の参加者からも意見を拾い上げるために、意見を出しやすい雰囲気をつくりあげ、子育て世代にも様々な考え方があることに気づいてもらいたい、という意見が挙げられた。

周知のチラシについては、参加できない方からもテーマや地域課題に関する意見を寄せてもらう欄をチラシの下部に設けて、切り取って提出もしくはファクシミリやE-mailで送信していただくこととした。

周知方法は、チラシを9月25日号にて各戸配布し、10月5日号においても回覧、小学校PTAからも呼びかけをしていただくこととした。

資料10)依頼文案については、主催の担当として青少年健全育成部会名や部長名も入れ、規模を明確にするために青少年関係団体60名程度と明記し、参加者報告票は欄を多く作り、できるだけ多くの方にご参加いただけるように工夫することとし、依頼はできるだけ手渡しで説明をしながらお願いすることとした。

(2) 地域課題ワークショップについて

日程については1月23日(土)で計画している役員案を説明し、確認した。

テーマについては、今まで挙げられてきた地域課題はもとより、第1回地区集会のまちづくりタイムでのご意見やグループトークの状況も含めて判断して検討していくこととした。

(3) その他

資料11)に基づき、第38回片瀬地区ふれあいまつりに出展する部会及びワーキンググループの内容について確認を行った。

資料12)に基づき、各地区で検討行われている、まちづくり事業・地域課題・地域活動の確認を行った。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 6 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 9 月 17 日（木）午後 2 時 30 分～午後 4 時 03 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 13 人（委員現在数 24 人。11 人欠席）

事務局 7 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 6 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 27 年度第 5 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 6 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 27 年度第 5 回青少年健全育成部会報告
- 5) 平成 27 年度第 1 回地区集会 市長との意見交換会についての打ち合わせ報告
- 6) 平成 27 年度第 4 回公民館活用部会報告
- 7) 平成 27 年度第 3 回まちづくり推進部会要旨
- 8) 平成 27 年度第 3 回郷土文化推進部会議事録
- 9) ～郷土文化推進部会からのご報告～諏訪神社片瀬餅つき唄披露
- 10) 平成 27 年度第 4 回空き家対策検討 WG 議事録
- 11) 平成 27 年度第 3 回環境 WG 議事録
- 12) 片瀬地区青少年育成協力が、警察より感謝状贈呈の NEWS！！
- 13) 平成 27 年 6 月 1 日から改正道路交通法が施行チラシ
- 14) 平成 27 年度第 1 回地区集会実施企画（案）
- 15) 平成 27 年度第 1 回まちづくり地区集会回覧チラシ
- 16) 片瀬地区地域まちづくり事業一覧表
- 17) まちづくりの組織と事業の変遷について
- 18) 9 月 10 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 27 年度第 5 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料 3～9) に基づき部会活動について報告した。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングが、資料 10～11) に基づき検討状況について報告した。
次回全体会で、各 WG が片瀬地区ふれあいまつり(公民館まつり)で展示する内容
についてお示しすることとした。

(4) 各地域団体からの報告(トピック)

- ・(青少協) 資料 12) 夏期海岸夜間パトロールに対して警察署より感謝状。
- ・(交対協) 資料 13) 改正道路交通法施行チラシの各戸配布予定について。
- ・(スポーツ) 10月4日(日)第42回地区レクリエーション大会開催。
- ・(防犯) 市内在住者より片瀬地区に青色回転塔搭載車寄贈。

(5) その他

特になし。

4. 議題

(1) 第1回地区集会について

資料 14～15) に基づき、地区集会企画について内容の確認を行った。

資料 15) のチラシについては、前回の全体会での意見を踏まえ、参加されない方も意見のみ提出できる形に部会で内容を詰めて役員会において確認のうえ印刷したもので、9月25日号地域回覧にて各戸配布していくことの報告があった。

グループトークにおける各班の進行及び書記については、参加要請団体から選出したこと、話題提供役としてコーディネーターを設けることとなったことについて報告があった。

グループメンバーについては、9月末迄に参加要請団体から参加者の報告が出揃うので、グループ分けを行った結果を次回全体会でお示しすることとした。

会場レイアウトについては、和室を保育で使用し、ホール・第3談話室の後方に児童コーナーとして子どもたちがグループトーク中に遊べるスペースを設けることとした。また、後方の壁面はまちづくり PR コーナーとして展示を行うこととした。

委員の集合時間については11時30分とし、開場までに会場設営を行うこととした。

(2) 平成28年度予算について

資料 16) に基づき、平成28年度予算について検討を行った。各部会で平成28年度予算要求予定額に変更があれば、9月末までに事務局まで連絡することとした。

5. その他

資料 17) に基づき、まちづくりの組織と事業の変遷について事務局から説明があり、郷土づくり推進会議が市民参加制度として3年が経過したことから、今まで

の活動において気づいた制度上の課題や改善点等のご意見について、年内を目途に集約していきたいとの案内があった。

このことについて、意見が出やすいように記入用紙を用意してほしい旨の意見があったので、事務局から市民自治推進課へ要請していくこととした。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 7 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 10 月 16 日（金）午後 6 時 30 分～午後 8 時 27 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 22 人（委員現在数 24 人。2 人欠席）

事務局 6 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 7 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 27 年度第 6 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 7 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 27 年度第 5 回公民館活用部会報告
- 5) 平成 27 年度第 4 回まちづくり推進部会要旨
- 6) 平成 27 年度第 5 回空き家対策検討 WG 議事録
- 7) 第 38 回ふれあいまつり展示（空き家対策検討 WG）
- 8) 平成 27 年度第 4 回環境 WG 議事録
- 9) 第 38 回ふれあいまつり展示（環境 WG）
- 10) 平成 27 年度第 1 回地区集会実施企画
- 11) 平成 27 年度第 1 回地区集会進行表/会場図
- 12) 平成 27 年度第 1 回地区集会次第
- 13) 平成 27 年度第 1 回地区集会班割り振り
- 14) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 16 号
- 15) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 17 号
- 16) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 18 号（構成案）
- 17) 10 月 10 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 27 年度第 6 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料 3～5) に基づき部会活動について報告した。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングが、資料6、8)に基づき検討状況について報告した。資料7、9)に基づき片瀬地区ふれあいまつり(公民館まつり)で展示する内容について報告した。空き家対策検討WGについて、1月23日のワークショップで空き家をテーマにするかどうかワーキングで検討を行い、次回全体会で報告することとした。

(4) 各地域団体からの報告(トピック)

- ・(社協)第64回神奈川県福祉大会で片瀬地区社協をはじめとする功労者表彰。
- ・(生環協)11月15日一日清掃デー実施について。

(5) その他

特になし。

4. 議題

(1) 第1回地区集会について

地区集会の確認を行った。

資料11)に基づき、進行について確認を行った。総合司会とナレーションは徳江副会長、挨拶は長谷川会長が行うことを確認した。市長巡回は各班8分とし、トーク紹介の前に市長・副市長コメント(講評)を行うこととした。

また、地域の取り組み紹介の写真ムービーと、まちづくりタイムで使用するまちづくり協議会活動報告の写真ムービーの内容確認を行った。他の写真を使用したい場合は、27日までに事務局へ写真提供することとした。

事前にいただいたご意見については、各班の司会、書記、コーディネーターにお渡しすることとし、参加者には、資料12、14~15)のみを配付することとした。

会場受付は、杉山副会長、田村副会長、三觜委員が中心に行い、参加者に班と名前の入った立て札を渡すこととした。

児童コーナーについては、会場後方には設けず、他の部屋を利用することとし、グループトーク中は、委員も各班につき、参加者のサポートを行うこととした。

資料13)の班分けと各班の進め方については、10月27日に行われる青少年健全育成部会で最終確認を行う報告があった。

(2) まちづくり通信について

資料16)に基づき、まちづくり通信第18号の内容について検討を行った。表面は地区集会概要、2面は地区集会のテーマに関わる部会、地域団体の活動の紹介、裏面は集会であげられたご意見を紹介する構想を報告した。

他に掲載したい企画案があれば事務局まで連絡することとし、基本的な紙面については地域広報部会で作成を行い、次回の全体会で確認することとした。

(3) その他
特になし。

5. その他

郷土づくり推進会議が市民参加制度として3年が経過したことから、今までの活動において気づいた制度上の課題や改善点等のご意見に関するアンケートを次回全体会で配布する案内があった。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 8 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 11 月 19 日（木）午後 2 時 30 分～午後 4 時 27 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 17 人（委員現在数 24 人。7 人欠席）

事務局 3 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 8 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 27 年度第 7 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 2 回片瀬地区ボランティアセンター運営委員会会議録
- 4) 平成 27 年度第 6 回青少年健全育成部会地区集会反省会報告書
- 5) 平成 27 年度第 5 回公民館活用部会報告
- 6) 平成 27 年度第 4 回郷土文化推進部会議事録
- 7) 平成 27 年度第 2 回地域広報部会要旨
- 8) 平成 27 年度第 6 回空き家対策検討 WG 議事録
- 9) 「H27 市民と市長との意見交換」議事概要
- 10) 平成 27 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会地区集会議事録(案)
- 11) 平成 27 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会地区集会参加者アンケート結果
- 12) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 18 号(案)
- 13) 地方版総合戦略の策定における「未来の藤沢について」の意見一覧(中間報告)
- 14) 郷土づくり推進会議及びまちづくり事業に対する課題等について(委員アンケート)
- 15) ～郷土づくり推進会議の概要～
- 16) 藤沢市空き家対策基本方針(案)
- 17) 10 月 25 日号回覧一式
- 18) 11 月 10 日号回覧一式
- 19) 11 月 25 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 27 年度第 7 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料 3～7) に基づき部会活動について報告した。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングから資料8)に基づき検討状況について報告があった。空き家対策検討ワーキングからは、市から資料16) 空き家対策基本方針(案)パブリックコメントの実施がされているが、基本方針が取り纏められていない段階でワークショップを行うのは時期尚早なので、1月のワークショップでは取り扱わない報告があった。

(4) 各地域団体からの報告(トピック)

- ・(社協) 資料19) 片瀬社協だよりしあわせ発行。
- ・(交対協) 資料17) 「自転車運転者講習」の受講が義務化! チラシ各戸配布。

(5) その他

特になし。

4. 議題

(1) 第1回地区集会及びワークショップについて

資料9~11)に基づき地区集会の振り返りを行った。グループトークの主な意見として、公園の利用について、子どもたちが体をあまり動かさないのでボール遊びをできるようにして良いのではないかと意見があげられ、市側からは公園が最大限活かせる方法を今後検討していくコメントがあった。また、子どもの貧困について意見があげられ、市側からは学習の遅れや家庭環境など様々な問題があり、複数の視点で捉え、行政も関係各課で連携を行い、地域の方に協力もいただきながら解決にむけ検討していくコメントがあった。また、子どもの放課後について意見があげられ、市側からは放課後児童クラブや、家庭で保育している方への支援も含めて対応したいコメントがあった。

参加者アンケートは、一般参加者100人中52人から回答があり、今までの地区集会と比べ若年層の参加者が多かったことを確認した。日頃感じている地域の課題として、主に居場所、まちかどミニベンチ、生活道路の安全向上対策、住環境などの意見があった。

波多青少年健全育成部会長からは、参加者からは多くの意見・課題が出てきており充実していた、という意見があげられた。地区集会以降に各班の司会、書記、コーディネーターを集め反省会を行い、今後の進め方として、青少年健全育成部会を中心として、青少年育成協力会・青少年支援フォーラム・片瀬地区子ども会連絡会も含め子どもの意見を聞く場面を作り、子どもと今回の地区集会の意見を整理し、要望書として取り纏め、提出する前には全体会でお諮りした上で市側に提出したい提案があり、了承された。

事務局からは、地区集会後に市長・副市長から片瀬は地域力が高いこと、グループトーク形式は良かったと感想を述べていたことの報告をした。

1月23日(土)に計画していたワークショップは、部会およびワーキンググループからワークショップ議題の提案があがらなかったため、実施しないこととした。

(2) まちづくり通信について

資料12)に基づき、まちづくり通信第18号の内容とスケジュールについて確認を行った。内容についてご意見・修正があれば11月30日までに事務局へ連絡することとした。最終版は、12月10日号回覧(12月4日地域回覧便)で各戸配付することとした。

(3) その他

来年度に向けて郷土づくり推進会議公募委員の募集スケジュールについて、広報ふじさわ1月25日号にて募集案内を行い、募集期間1月27日～2月16日、3月中旬には公募委員を決定することとし、片瀬地区では12月に選考委員会を設け、会議を構成する地域団体や公募委員選出人数などについて検討していく旨の説明が事務局からあった。

5. その他

(1) 郷土づくり推進会議制度について

郷土づくり推進会議が市民参加制度として3年が経過したことから、今までの活動において気づいた制度上の課題や改善点等のご意見に関するアンケート(資料14)を12月15日(火)全体会までに提出する依頼があった。エクセル形式のファイルの提出を希望する場合は、事務局へ連絡することとした。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 9 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 27 年 12 月 15 日（火）午後 6 時 32 分～午後 8 時 33 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 19 人（委員現在数 24 人。欠席 5 人）

事務局 7 人

傍聴 4 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 9 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 27 年度第 8 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 8 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 27 年度第 9 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 5) 平成 27 年度第 7 回公民館活用部会報告
- 6) 平成 27 年度第 5 回まちづくり推進部会要旨
- 7) 平成 27 年度第 5 回郷土文化推進部会議事録
- 8) 平成 27 年度第 7 回空き家対策検討 WG 議事録
- 9) 素案 平成 27 年度第 2 回地区集会企画（2/27 土実施）
- 10) 平成 27 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集（地区集会版）
- 11) 過去 400 年から未来へと繋ぐみち（「江の島みち」の整備事業）
- 12) 地区集会実施状況一覧（平成 25 年度～27 年度）
- 13) まちづくり組織と事業の変遷について
- 14) 平成 28 年度郷土づくり推進会議公募委員の募集について
- 15) 片瀬・江の島地域の郷土づくりに参加してみませんか！（公募委員募集チラシ）
- 16) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 18 号
- 17) 12 月 10 日号回覧一式

1. 開会

12 月に着任した人材・情報バンクセンター新コーディネーター 3 名の紹介があった。

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 27 年度第 8 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料3～7)に基づき部会活動について報告した。人材・情報バンクセンター運営委員会からは、1月以降新任コーディネーターと地域団体長との顔合わせの協力依頼があった。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングから資料8)に基づき検討状況について報告があった。環境ワーキングからは、ふれあいまつりで配布した犬のフン持ち帰りプレートのアンケート回収状況率が低いので、次回全体会で委員に配布し効果測定を行いたい依頼があった。

(4) 各地域団体からの報告（トピック）

特になし。

(5) その他

特になし。

4. 議題

(1) 第2回地区集会について

資料9)に基づき地区集会企画素案の検討を行った。主旨は、まちづくり協議会第2期活動総括と、2025年生き活きとできる時代にするための下地づくり、新たな地域課題（人口減少や超高齢社会）を迎えるにあたり、郷土文化を語り合うことで地域への参加や、地域課題への取り組みのきっかけづくりの試みとしてワークショップを行う旨の説明をした。

内容は、第一部は活動総括としてムービーで紹介を行い、アンケート付説明資料（資料10)）を配付し、持ち帰り見ていただき、アンケートに課題等を書いて提出してもらうことを説明した。第二部は未来につなぐ☆まちづくりワークショップとして、片瀬・江の島が好きな人に集まっただき、郷土魅力を語っていただき、参加者と共有を行う、残念な点もあげていただき地域課題として今後のまちづくりに活かしていくことを説明した。進め方は、**案1**ファシリテータがテーマを引き出して方向性をまとめあげて自分たちで活動できることを確認してキックオフのような場をつくる方法、**案2**テーマを決めずに参加者同士で方向性を緩くしお互いの意見に共感し、参加のきっかけづくりを今後地域へ提案していく方法を提案した。

以上を踏まえ、委員からは進行は歴史に精通していないとできないのでは、郷土文化だけではなく将来に向けた生活に密着した話も含めたらどうかと意見があげられた。意見に対して、進行は**案2**であれば歴史に精通していなくてもできること、今回のワークショップで郷土文化をとりあげているのは、課題別検討ワーキングの内容をワークショップでとりあげることが時期尚早であること、片瀬ふれあいまつりで片瀬の歴史に関心ある人が多かったこと、また若年層や他地域から移り住んで

きた方への伝統文化の継承の意味合いもあることを説明し、二部構成で行うこと、**案2**の手法で行うことので了承を得た。

今後のスケジュールは、1月の役員会でチラシ案の検討を行い、全委員にチラシ案を配付し確認を行い、1月20日回覧便で全戸配布し、さらに2月4日回覧便で回覧を行うことを確認した。

(2) 平成28年度の組織及び活動計画について

資料13)に基づき、まちづくり組織と事業の変遷について確認を行った。今年度で第2期が終わり、公募委員を募集して来年度から第3期が開始されることを確認した。組織として委員構成人数を考えていく必要があることを確認した。事業、地域課題の来年度の取り扱いについては、各部会、ワーキンググループで検討を行うこととした。

資料14)に基づき、公募委員募集の要領について確認を行った。資料15)公募委員募集チラシの配布方法、内容についてご意見あれば事務局まで連絡することとした。

(3) その他

特になし。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 10 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 28 年 1 月 21 日（木）午後 6 時 33 分～午後 7 時 59 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 20 人（委員現在数 24 人。欠席 4 人）

事務局 7 人

傍聴 3 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 10 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 27 年度第 9 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 10 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) クリスマスイベント実施報告（青少年健全育成部会）
- 5) 平成 27 年度第 6 回郷土文化推進部会議事録
- 6) 平成 27 年度第 5 回環境 WG 議事録
- 7) 犬のフン持ち帰り啓発プレート 2 枚
- 8) 犬のフン持ち帰り啓発プレート利用アンケート 2 枚
- 9) 平成 27 年度第 2 回地区集会企画（2/27 土実施）案
- 10) 平成 27 年度第 2 回地区集会進行表
- 11) 平成 27 年度第 2 回地区集会チラシ
- 12) 郷土づくり推進会議及びまちづくり事業に対する課題等について（要約）
- 13) 片瀬・江の島まちづくり協議会 平成 28 年度スケジュール調整表
- 14) 12 月 25 日号回覧一式
- 15) 1 月 10 日号回覧一式
- 16) 1 月 25 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成 27 年度第 9 回全体会について
会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。
- (2) 各部会からの報告
各部会が、資料 3～5) に基づき部会活動について報告した。
- (3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングから資料6)に基づき検討状況について報告があった。
環境ワーキングからは各委員に対し、資料7) プレートを利用し、資料8) アンケートを2月末までに事務局まで提出の依頼があった。

- (4) 各地域団体からの報告（トピック） 特になし。
- (5) その他 特になし。

4. 議題

(1) 第2回地区集会について

資料9～11)に基づき、地区集会の企画及び進行等について検討を行った。

参加者を増やす方策としては、チラシに参加賞（藤沢キューマークの缶バッジ）があることを掲載することとした。また、蔵出しのイメージを呼び起こすとともに当日の意見交換の充実を図ることを目的に、委員に行ったネタ起こしアンケートから当日の材料となるキーワードも掲載したチラシを印刷し、再周知版として2月4日の回覧便で回覧を行うこととした。

当日のタイムスケジュールについては、委員の集合を12時30分とし準備を行い、13:30から開会し、第一部は活動総括としてムービーによる紹介を行い、アンケート付説明資料を持ち帰っていただき、ゆっくり見て、アンケートにご意見や課題等を書いて提出してもらおうこととし、時間を効率的に使っていくことを確認した。なお、アンケートで寄せられたご意見や質問等はまちづくり通信で紹介や回答等行うこととした。

第二部のグループトークでは、最初の30分は参加者に話したいことを話してもらい、その後中間タイム（空気の入替え）では、案内人が各班にインタビューを行い、盛り上がっているテーマや詳しい人の紹介など、参加者に各班の状況を共有してもらいながら席の移動もありとする人と情報の交流の場とし、グループトークの後半に入っていくこととした。

今後に向けて（まとめ）の時間では、自分の班ではどのような魅力で盛り上がり地域の良さを再認識できたのかとか、また、その魅力を今後テーマとしてもっと話してみたい、研究してみたいという次の活動につなげていけるようなアイデアをまとめていく、あるいは方向付けしていくことを確認した。

魅力や今後についてはトーク紹介を行い、参加者全員で共有することとした。案内人は、活動に向けた案内をしてまとめ、センター長が謝辞を述べて閉会していくこととした。

役割分担については、総合司会、第一部司会、ナレーションを徳江副会長が担うこととした。第二部については、案内人役（第二部司会）を郷土文化推進部会の杉下協力員が行い、各班の進行役は同部会の畠山部会長、福島副部会長、青木委員、金子協力員、大串協力員、書記を事務局が担い、その他の委員は、各班に入りト

クに参加してもらうこととした。江の島・藤沢ガイドクラブ会員と市郷土歴史課職員には、ネタの提供や疑問点の解説などを担っていただく役割とした。

地区集会前に、進行役を招集し進め方等を確認することとした。

受付は、参加者に名札を渡し、委員が各班のテーブルまで案内することとした。前回の地区集会の反省事項として、資料が多く1人に渡す資料をセットするのに時間がかかった意見があり、次回の全体会で配付資料の量を元に配付準備方法について検討することとした。受付担当は、杉山副会長、田村副会長、三觜委員から申し出があり、その他の役割は次回全体会で決めることとした。第二部の進行役は、最初から各テーブルで待機し、参加者を迎えることとした。

(2) 今年度総括及び来年度計画について

郷土づくり推進会議が市民参加制度として3年が経過したことから、今までの活動において気づいた制度上の課題や改善点等に関するアンケート（12月に委員に対して実施したもの）の集計結果を、他地区分も含め、資料12)で確認を行った。意見として挙げられた課題については、市としては今後制度の見直しなどに生かしていくとともに、協議会としても来年度活動計画の策定にあたっての参考としていくことを確認した。

資料13)に基づき、来年度計画についての検討を行った。

来年度の地域団体事業の日程を配慮した上で、まちづくり協議会役員会・全体会・地区集会の年間日程について事務局から説明があった。地区集会は年3回の実施にあたり、地区集会運営委員会をつくり、委員だけではなく地域団体の若手の方も交えながら、地区集会のあり方も踏まえての議論や企画を検討していく提案があったことを受け、委員会設置の是非も含め今後検討していくこととした。

また、4月の日程については、委嘱式を7日(木)、11日(月)役員会、25日(月)全体会を仮予定とし、市長の日程調整の結果によっては、委嘱式の日程がこの3日間の中で入れ替わる可能性があることを確認した。

(3) その他

平成28年度団体選出の委員について、未定の場合でもいつ頃決まるかを2月末までに事務局まで連絡することとした。

現公募委員の来期の継続確認面談を2月末までに実施の連絡があった。

5. その他

第11回全体会の開始時刻を14時30分から18時30分へ変更した。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 11 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 28 年 2 月 18 日（木）午後 6 時 31 分～午後 8 時 16 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 20 人（委員現在数 24 人。4 人欠席）

事務局 8 人

傍聴 3 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 11 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成 27 年度第 10 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 11 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 27 年度第 3 回片瀬地区ボランティアセンター運営委員会議事録
- 5) 平成 27 年度第 6 回郷土文化推進部会議事録
- 6) 平成 27 年度第 8 回公民館活用部会報告
- 7) 平成 27 年度第 9 回公民館活用部会報告
- 8) 平成 27 年度第 6 回まちづくり推進部会要旨
- 9) 平成 27 年度第 7 回郷土づくり推進会議議事録
- 10) 平成 27 年度第 8 回空き家対策検討WG 議事録
- 11) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成 27 年度第 2 回地区集会次第
- 12) 平成 27 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集(地区集会版)
- 13) 平成 27 年度まちづくり地区集会参加者アンケート
- 14) 平成 27 年度第 2 回地区集会進行表・会場図
- 15) 第一部まちづくりトピックス ムービー構成案
- 16) 片瀬・江の島まちづくり協議会 平成 28 年度スケジュール調整表
- 17) 2 月 10 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 27 年度第 10 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料 3～9) に基づき部会活動について報告した。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングから資料 10)に基づき検討状況について報告があった。空き家対策検討WGからは、国の法案整備、市のガイドライン、基本方針が策定されたことにより、ワーキングとして一定の役割を果たしたことでワーキングを終了させたい提案があった。次回役員会では全体会に向けて来年度の組織体制案を検討するため、役員会にワーキング長に出席してもらい改めて説明をしてもらうこととした。

(4) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（生環協）資料 17) 3月1日さかなの放流事業実施。
- ・（片子連）3月26日五町会館にて子どもたちが遊べるイベントの実施。

(5) その他

片瀬山市民の家の再整備計画の進捗状況について、市民自治推進課より情報提供があった。

4. 議題

(1) 第2回地区集会について

資料 11～15)に基づき、地区集会の進行や当日の配付資料について確認を行った。

当日の集合は11時30分とし、委員はもとより、第二部の総合司会である案内人や各班の進行を行う郷土文化推進部会の協力員の方々、また、情報提供役としての江の島・藤沢ガイドクラブの方々にもご参加いただき、第二部ワークショップの進行について打ち合わせを行うこととした。

資料 15)に基づき、第一部のまちづくりトピックスで放映するムービーの構成案について検討を行った。まちづくりトピックスについては、全体の時間を有効利用するため、その場での質疑応答を行わず、アンケートへ質問事項を記載していただき、その後のまちづくり通信や地区集会等で紹介や回答等を行うこととした。

資料 12) 活動報告集案については、各委員が最終確認し、修正事項がある場合は、2月24日までに事務局へ申し出ることとした。

第二部は、各班共通の進め方として、冒頭に参加者から自己紹介を兼ねて参加動機や、郷土の魅力の想いについて話してもらうこととした。当日飛び入り参加も可能としていることから、想定以上に参加者が多い場合は、担当委員は席を譲り、フォロー役に徹することとした。

30分ほど経過した後の中間タイム（空気の入れ替え）では、案内人が各班にインタビューを行い、盛り上がっているテーマや詳しい人の紹介など、参加者に各班の状況を共有してもらい、テーマによっては席の移動もしつつ、情報と人の交流の機会とし、グループトークの後半では前半であげられた話題を掘り下げるとともに、

2020年に開催されるオリンピックのおもてなしの一環として私たちが紹介している郷土魅力を再認識していくこととした。

今後に向けて（まとめ）の時間では、自分の班ではどのような魅力で盛り上がり地域の良さを再認識できたのかとか、その魅力を今後テーマとしてもっと話してみたい、研究してみたいという次の活動につなげていけるようなアイデアをまとめていく、あるいは方向付けしていくことを確認した。

各班でまとめた魅力や今後についてのトーク紹介を書記が行い、参加者全員で共有し、案内人が活動に向けた案内をしながらまとめていくこととした。

最後の「その他」では、片瀬山市民の家の再整備計画の進捗状況について市民自治推進課より説明を行う時間をとり、センター長が謝辞を述べて閉会していくことを確認した。

(2) 今年度総括及び来年度計画について

来年度の組織体制案については、3月の役員会において検討し全体会へたたき台を提案していくこととした。については、部会や課題別検討ワーキングにおける活動の課題やご意見等があれば2月中に事務局へ連絡することとなった。

資料16)に基づき、来年度活動のスケジュール感を確認した。

(3) その他

特になし。

5. その他

特になし。

6. 閉会

以 上

平成 27 年度 第 12 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成 28 年 3 月 15 日（火）午後 6 時 33 分～午後 8 時 41 分

場 所：片瀬市民センター 第 1 談話室

出席者：委員 20 人（現在数 24 人。欠席 4 人），事務局 8 人，傍聴 2 人

<配付資料>

- 1) 平成 27 年度第 12 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成 27 年度第 11 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成 27 年度第 12 回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成 27 年度第 4 回片瀬地区ボランティアセンター運営委員会議事録
- 5) ～郷土文化推進部会からのご報告～片瀬こま大会
- 6) 平成 27 年度第 6 回環境WG議事録
- 7) 平成 27 年度第 2 回まちづくり地区集会写真リポート
- 8) 平成 27 年度第 2 回まちづくり地区集会参加者アンケート
- 9) 平成 28 年度組織と活動について検討資料
- 10) 平成 28 年度片瀬地区地域活動・課題・まちづくり事業一覧(案)
- 11) 平成 27 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集目次
- 12) 平成 28 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり地区集会企画素案
- 13) 平成 28 年度片瀬・江の島まちづくり協議会日程表
- 14) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 19 号(案)
- 15) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第 20 号(案)
- 16) 平成 28 年度会議日程表(案)
- 17) 3 月 10 日号回覧一式

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 平成 27 年度第 11 回全体会について

会議内容について、資料 2) に基づき振り返りを行った。

(2) 各部会からの報告

各部会が、資料 3～5) に基づき部会活動について報告した。

(3) 各課題別検討ワーキングからの報告

各課題別検討ワーキングから資料 6)に基づき検討状況について報告があった。

空き家対策検討ワーキングからは、今後の方向性として、この 2 年間で法が整備され、藤沢市においても空き家対策担当が設置されることにより窓口を一本化し、利活用の取り組みを行っていく体制が整っていくことを踏まえ、ワーキンググループはそこに導くまでの手段だったので一旦休止することの説明があった。今後、地域の方に対して、行政の取り組みを説明する機会を地区集会等で設けていくことの必要性について意見があった。

(4) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（片子連）資料 17) 3 月 26 日下の谷子どもまつりの実施。
- ・（生環協）資料 17) 4 月 16 日クリーン活動の実施。

(5) その他

平成 28 年度公募委員選考報告があり、2 名の方が選考された報告があった。

4. 議題

(1) 第 2 回地区集会について

資料 7～8) に基づき、地区集会の振り返りを行った。

社協が企画していたが学級閉鎖のため開催できなかった児童交流会の参加予定者の方に案内状をお送りしたことにより参加者が増えたことや、予想以上に地域のことに詳しい人がたくさんいたので、郷土の様々な魅力に触れることができ、改めて片瀬地区の郷土資源の底力・豊かさ・幅広さを感じたことと、これをスタートに関心を持つ人が広がるなど、郷土魅力の継承につながる良い機会だったと委員から意見があげられた。

(2) 今年度総括及び来年度計画について

資料 9～10) に基づき、平成 28 年度の事業の方向性について確認を行った。

今年度から来年度にかけての変更点は、第 2 回地区集会のワークショップテーマを「(仮称)郷土魅力継承等課題」として地域課題として扱っていくこと、市民の家の利便性向上課題と廃屋への対応課題は市の動向を見ていくこと、ごみの持ち帰りの課題は引き続き環境課題検討ワーキングが担っていくこと、小学生の居場所課題は青少年健全育成部会が担っていくことを確認した。

各委員が感じている地域の課題に関するアンケートについて、今週中に事務局へ提出し、内容を役員会で集約・整理していくこととなった。

資料 11) の活動報告集は、地区集会で配布した資料へ 2 回の地区集会結果を追加して再編成することとし、4 月中に配布することとした。

資料 12) では、平成 28 年度第 1 回地区集会までのスケジュールと内容の確認を行った。

資料 13) では、4 月 11 日に委嘱式と市長等市理事者との意見交換を行い、その後の準備会で役員互選を行い、新役員で第 1 回役員会を開催することを確認した。

(仮称)郷土魅力継承等課題については、今後の取り組み方やどの部会またはワーキングで取り扱うかを検討していく段階であり、オリンピック開催を一つの契機として郷土愛を醸成していくことは大切であるが、平成 28 年度の第 1 回地区集会でテーマとして取り扱うのは時期尚早であるという意見があげられた。

また、オリンピックに関する地域課題については、別途必要に応じた場合に課題として取り上げることとした。

(3) まちづくり通信について

資料 14～15) に基づき、まちづくり通信の確認を行った。まちづくり通信第 19 号の校正締め切りは 3 月 16 日午前 10 時、第 20 号は 3 月 18 日までとした。

(4) その他

特になし。

5. その他

退任される原委員、三觜委員、小池委員、三觜委員から謝辞があった。

6. 閉会

以 上